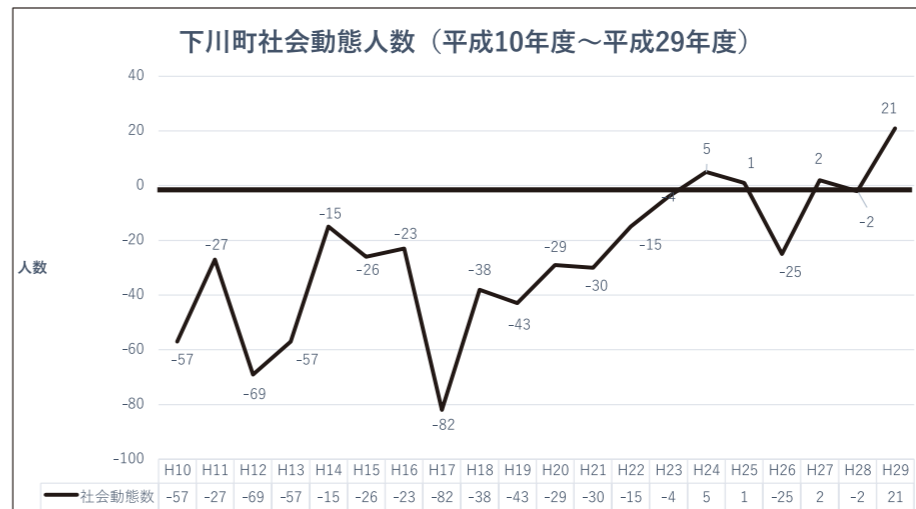


こんにちは！今回は、平成29年度の取組みと人口動態についてお伝えします。

平成29年度は、タウンプロモーション推進部を通じて9世帯11人が下川町に移住されました。移住促進の取組みとして、総合移住情報サイト「タノシモ」やフェイスブック、ツイッター、インスタグラム等のSNS、下川町に興味を持っている約500人へのダイレクトメールを毎月送るなど継続的な情報発信を心掛けています。次に、下川町に興味を持った人に、より深く知っていただく場として移住フェアへの参加、下川町単独でのイベント開催など東京、大阪、札幌で15イベントに参加、開催しました。その結果、下川町ブースに直接お越しいただいた人や電話、メールでの移住相談件数は合計375人となりました。

人口の社会動態はプラス21人となり、直近での社会動態数はこの20年間で過去最高数値、また全道179自治体の中でトップ10（平成29年1月～12月の社会動態）に入りました。\*社会動態・転入・転出に伴う人口の動き。日頃より当事業へのご理解・ご支援

に感謝するとともに、町の発展のために引き続き移住促進事業として進めていきます。それでは、続いて具体的なタウンプロモーション推進部の活動を紹介します。



下川体験ツアー

昨年からの、移住に関心がある人向けの短期ツアーを実施しています。起業や家族向けなど、参加者の関心に合わせた内容のツアーをこれまで8回開催し、合計35人が参加しました。ツアーでは、下川町の森づくりについて学び、町民との交流の機会も設けるなど、町のことを知り、仕事や暮らしの具体的なイメージをお持ちいただけるような内容となっています。ツアー参加後に下川へ移住する人もおり、今後も内容を充実させながら取り組んでいきます。



下川人材バンクのご案内

下川人材バンクは、下川町内で従業員を募集している事業者と、仕事を探している求職者（町内在住者、移住希望者など）をマッチングするための仕組みで、現在町内の求人が39件掲載（7月24日時点）されており、これまでに14人の就業実績があります。ホームページには町内で仕事を探すときに知りたい情報が掲載されており、町内5か所にはポスターで求人の一覧が掲示されていますので、町内で仕事を探す場合にはぜひご活用ください。

シモカワベアーズの取組みについて

自分のやりたいことを実現するために、地域おこし協力隊の制度を活用して起業を目指す「シモカワベアーズ」という取組みを平成29年度から始めました。昨年「シモカワベアーズ」一期生として山田泰生さんが地域おこし協力隊に着任し、鹿肉事業の立ち上げを目指しています。そして今年度も新たな採用が決まりました。地域の人たちと一体になって、新しい風を作り上げていく「シモカワベアーズ」にご期待ください。



町外でのPRイベント実施について

町のことをもっと多くの人に知ってもらいたいという思いから、都市圏を中心に様々なイベントを行なっています。札幌の地下歩行空間では、北はるか農協と連携した下川町での就農PRイベントに合わせて下川産のアスパラ販売会を実施したり、下川のライフスタイルに関するトークイベントを東京都内で移住希望者に向けて開催しています。秋冬にも家族向けのイベントの実施を予定しており、色々な切り口から下川に興味を持っていただけたらと思っています。



町内のイベントについて

タノシモカフェ  
下川町は年間2000人ほどの人が引越してきます。移住者同士や地元の人と気軽に交流できる場として、月に1回食事を持ち寄り（買った総菜なども可）開催しているのがタノシモカフェです。番外編としてもジーンズカンパニーやチーズフォンデュ会を開催し盛り上がりました。今後も楽しい企画を考えていきます。



森の寺子屋について

町内の有志メンバーで、下川でやりたいことを実現するための半年間限定の勉強会「森の寺子屋」を5月から始めました。総勢17人が参加し「やりたい」を形にするべく挑戦します。月1回のミーティングはどなたでも見学できます。11月10日（土）に「森の寺子屋」発表会も開催予定です。

